

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
I. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	事業母体である慈恵会全体で『利用者の立場に立った保健福祉サービス、地域に対する専門技術の提供』をスローガンに職員の教育体制、川辺エリア地域貢献事業として『介護福祉出前講座』を開設。ホームとしては『花一杯運動』を通して、地域の方々といっそう深い繋がりを持ちたいと考えています。		
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎月曜日、隣接特別養護老人ホーム1階において、慈恵会理念の唱和、また、それぞれの事業所の週間予定の発表を通して、ホームにおけるサービス以外に事業所同士が共働りし、利用者様に多種多様なサービス提供に努めています。		
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	ご家族様には毎月ホームの便りでホームの方針、計画をお伝えし、利用者状況書を通して、利用者様の生活をお伝えしています。また、川辺町エリア全体で「ひなたぼっこ」(情報紙年間4回)を公共施設、医療機関等の窓口等に配布し、地域の皆様に事業所の現状、福祉に対するご理解をいただけるよう努力しています。		
2. 地域との支えあい				
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	利用者様と散歩や近隣のスーパーに買い物に出たとき、或いは郷土行事への参加など、隣人との会話に心がけ、また、知人からのご挨拶を通して日常会話となっていると考えています。また、ボランティア様へはボランティア以外の訪問もお誘いしています。	○	ご近所の方との繋がりを深めるため、ホーム前に気軽にいただけるスペース(ベンチ、テーブル)を設け、気軽に入居者の方と語らえる環境づくりを計画。
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	ボランティア事業を通して、お知り合いになった隣人からは、時々切花をいただいたり、花を移植したり、酒造メーカーの蔵出しや川辺町の文化祭に参加しています。町営の福祉施設「やすらぎの家」へ出かけていくと、知人、友人との出会いがある為、月1回はでかけようと努めています。	○	社会福祉協議会を通して、老人会、自治会とも繋がりがもてるよう参加できる場所から、参加させていただけるよう考えていきます。

岐阜県. さわやかグループホーム川辺

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	○	8月に学童を交えた繭人形作り（にこにこサロン）開催予定。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>		
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>		
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>		
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>		
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>		

岐阜県 さわやかグループホーム川辺

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約書、重要事項説明書の説明に当たっては、入所時、重要事項の説明を行い、家庭に帰って考察していただいている。介護保険改訂部分の説明を家族会で行い署名、捺印を頂いている。疑問点にはご家族様に複数回お尋ねし、承諾を得る努力をしています。		
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者様からの意見、不満、苦情については、朝の申し送り等で職員に報告し、情報の共有を図り、改善に努めています。また、苦情受付簿への記入、エリア会議での報告等によって上司、他の事業所との情報の共有、苦情に対する対応、解決方法等話合っています。		
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	月に一度のホームたよりで月間行事、職員の異動報告、利用者様の暮らし、健康状況は利用者報告書で毎月報告、健康状態に急変があれば、ご家族様に電話連絡しています。金銭管理はご家族様了解の下、自己管理、自己管理できない方は金銭出納帳に記録をのこし、現金は特別養護老人ホームの事務所金庫で保管しています。		
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	フロア掲示板に不服申し立て事業等の掲示。重要事項説明書に明記。家族等からの意見、不満、苦情に関しては苦情受付簿において職員、上司に報告、対応に当たっている。職員間での情報の共有は朝の申し送りや連絡帳の記載、また、業務日誌、個別ケース記録に記載している。必要に応じて、職員会議で討議しています。		
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月1回、職員会議を開催、職員からの意見や提案をホーム運営に活かしている。また、普段職員からの提案を受け入れたり、管理者の独断による決定事項は避けるように努めています。		
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	カンファレンス（ケアプラン担当者会議）出席のおり、ご家族様の希望日時に配慮し、なるべく希望に沿うよう勤務体制を整えている。家族への連絡はご家族様の状況に合わせて、時間帯を考慮し対応しています。		

岐阜県. さわやかグループホーム川辺

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員は地元出身者（川辺町）3名、隣町が3名、他3名で、利用者様のなかには入所前から、顔馴染みの関係があります。上司は特別な理由が発生しない限り、異動を考えていません。		
5. 人材の育成と支援			
19 ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	運営者は研修システムを構築運用し、そのコース以外にも、単発的に認知症に関する講座、隣接特別養護老人ホームにおける勉強会、介護福祉士受講講座等外部教育システムへの参加も奨励しています。		
20 ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	慈恵会にはグループホームの事業所が6箇所、姉妹関係の事業所が1箇所あり、月に1度、向上委員会を開催、サービス提供に関する情報交換、勉強会、職員の交換研修を行っています。また、岐阜県総合福祉センター主催の認知症実践リーダー研修の受講者（県内事業者リーダー職員）の受け入れもしています。		
21 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	今年は『報連相』を年間目標の一つに上げ、情報の共有を通して、お互いに働きやすい環境作り、勤務表づくりを一人ずつ経験し、お互いに共働への理解を深め、利用者様支援、プラス職員間の助け合いこそがより充実したグループホーム運営に繋がると頑張っています。		
22 ○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	運営者、管理者は職員の個人目標を把握、常に職員の努力、実績、勤務状況の確認に努め、また、個々の健康、環境にも目を向けた上で、向上心、勤労を奨励しています。また、バックボーンであるそれぞれの家庭を何より大切にしてくださいようお願いします。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	利用に当たっては在宅のケアマネジャーと協力して、ご家族からの状況説明、ご本人の様子、生活史、時代背景、家族構成、趣味、性格等可能な限り、情報収集に努めています。利用者様には機会を作り、直接聞き取りをしています。		
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	本人からいただいた情報確認やご家族様にしかわからない利用者様の性格、家系、生活史、環境、病歴、主治医、認知症の状況等できる限り伺っている。特に身体状況については問い直すようにしています。		
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	管理者として、利用者様、ご家族様の立場に立って、利用者様の「その時」を見極め、何が今一番必要な状況であるか、また、隠れたニーズ、背景を考慮し、利用者様、ご家族様に答えが見出せるよう助言しています。選択に当たっては、上司にも相談にあたっています。		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用者が入居者となる前に在宅支援センターのケアマネジャーと家庭訪問、ご家族様の意向、利用者様間の生活歴、家系図、環境等情報を収集、隣接特別養護老人ホームの短期入所サービス利用者には、利用時に出むいて数回個人面談し、顔見知りとなりホームにお連れしたり、希望があれば、ホームでの短期入所サービスの利用を通してホーム理解を深めていただく努力をしています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	障害のある職員は障害のあるご利用者様と交互にマッサージをしたり、一緒に掃除をしたり、洗濯干しや取入れを行ったり、利用者様の身体状況に合わせて、調理、お買い物、水まき、草取り、野菜の取り入れなど行なっています。		

岐阜県. さわやかグループホーム川辺

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様には、緊急時以外の受診対応、家族会を年に数回、衣替え、行事参加など、ふれあう機会を作るよう努力しています。		
29 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	カンファレンス（ケアプラン担当者会議）出席のおり、ご家族様に利用者様の生活史や人間関係、社会参加のようすなど、お伺いしたり、訪ねて見えた親戚、友人、知人からも情報収集を心がけています。	○	家族・親戚・知人からの情報収集に努め、ケース情報欄の充実を図ります。
30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ケアハウス出身者にはケアハウスでの喫茶参加にお誘いしたり、町内のスーパーへの買い物、福祉施設「やすらぎの家」にでかけ、知人、友人との交流にこころがけています。		
31 ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者様の中には帰宅願望で心が揺れている他の利用者に対して、やさしい言葉かけがあったり、体調不良の利用者への心づかいがあったり、散歩の際、積極的に手をつないでいただいたり、支え合いの光景がよくみられます。		
32 ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	入院、退所後も必要に応じて、利用者様の情報交換、また隣接の特別養護老人ホームに入居された場合、特別養護人ホームを訪問した際には言葉掛け等心がけています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常、利用者様個々に行事参加、食事への希望を伺い、できる範囲で実現している。また、ご家族様の意向を電話やケアカンファレンスや面会の際聞き取り、その方の状況にあわせ、対処しています。ケアカンファレンスを開き、再検討することもあります。	
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用者様の生活歴については、家族、知人との会話をとおして、把握に努めているが、中には独居の期間が長く、入居の際、把握が難しい利用者もみえます。	
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	高齢に伴う体調変化に留意し、必要に応じて、バイタルチェック、食事や排泄状況を記録に残し、毎朝の申し送りでは職員間で状況対応の確認、夜勤者への申し送りを通して、利用者様の情報の共有に努め、小さな変化にも対応できるよう心がけています。	
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人、家族の参加を第一に考え、家族の希望日時に合わせ、カンファレンス開催、事前に必要に応じて専門職〔管理栄養士、社会福祉士、保健師、在宅のケアマネジャー、介護長（看護師）〕の意見収集等を図っています。	
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	急な身体変化や介護計画が実行できなくなった場合、職員間でカンファレンスを開き、計画の見直しをしています。ご家族様へは身体状況の説明を電話連絡し、計画変更の了解を得ている。また、中々連絡の取れないご家族様へは事後承諾となることもあります。内容によっては改めてカンファレンスを開催することもあります。	

岐阜県. さわやかグループホーム川辺

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38 ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日、ケアプランに沿って、ケースに記録を残し、モニタリング、評価表を通して実践結果を評価し、次のケアプランに活かす努力をしています。また、日々の体調変化、状況は看護・介護ケースに記録を残し、職員の情報の共有、必要に応じてご家族様に情報を電話しています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	隣接の多数の社会資源の活用、社会福祉士、看護師、ケアマネジャー、また、外部から開業医による往診の利用、地域密着で川辺町利用者にはレントゲン検診も可能。木沢記念病院での救急医療の利用等、医療、介護、行政（地域包括支援センター）のネットワーク作りに取り組んでいます。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 ○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	川辺町福祉施設「やすらぎの家」の訪問、多数のボランティアの受け入れ、川辺町主催の文化祭見学、地元酒造メーカーの初蔵出し見学、消防署指導の火災訓練に年2回参加等、保育園との交流、地域交流に努めています。		
41 ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	隣接の特別養護老人ホーム、デイサービスのレクリエーション活動、夏祭りを始め多数の行事に参加しています。また、在宅支援センターのケアマネジャーには入退所時の相談、ご家族の了解のもと、福祉用具等の利用対応を相談しています。		
42 ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	初回面談（インテーク）前に個人情報の確認や家族の意向の確認、体調変動に伴う入退院、入退所情報など、連絡を入れています。		

岐阜県. さわやかグループホーム川辺

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>		
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>		
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>		

岐阜県. さわやかグループホーム川辺

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49 ○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	ホームから他の事業所に移り住む際には、情報提供しています。入院に関しては、直前の体調変化の記録やケース記録、薬剤情報等をコピーし、情報提供しています。	○	専門記入シート計画中。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50 ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	ご家族様から、個人情報に関する同意書に署名、捺印をいただき、情報管理には十分配慮していますが、介護援助の際、敬語での対応、他の利用者に気兼ねしないですむトイレ誘導、身体の整容に努め、ケース記録の保管管理に努めています。		
51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	利用者様の個別介護、残存機能の維持、発見に努め、ご本人の意思確認を常に念頭におき介護に当たり、利用者様には行事についても提案、意見を求めています。		
52 ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者様には行動に移る前に本人に選択、意思確認し、利用者様の身体状況にあわせて対応しています。		
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53 ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	理美容に関しては、本人、ご家族様の自由です。移動理美容を利用している利用者様には理容師が直接希望を確認、本人の選択にお任せしています。普段の整容には職員が配慮、支援しています。		

岐阜県. さわやかグループホーム川辺

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
54	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>		
55	<p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>		
56	<p>○気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>		
57	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>		
58	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59	<p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>		

岐阜県. さわやかグループホーム川辺

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>		
61	<p>○日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>		
62	<p>○普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>	○	8月4日には川辺エリアの夏祭りに参加、10月には家族会でバーベキューを予定しています。
63	<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>		
64	<p>○家族や馴染みの人の訪問支援</p> <p>家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している</p>		
(4)安心と安全を支える支援			
65	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>		

岐阜県. さわやかグループホーム川辺

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中、居室には鍵をかけず、履きだし窓も鍵をかけていません。しかし利用者様に強い帰宅願望があり、日中、どうしても目がとどかない時、玄関のみ、鍵をかけることもあります。また、17時～翌日8時過ぎまで、施錠します。8時前にはきだし窓等鍵をはずします。玄関は日勤者が来てから開けます。		
67 ○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	利用者様の身体状況は朝の申し送り、夜勤者への17時の申し送りを通して把握し、特に注意が必要な方には見守り強化を図ります。また、職員は利用者様の動きに注意を払い、無断外出や転倒、誤食、漏便行為等に注意しています。		
68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	キッチンの漂白剤、包丁類は目の届かないところに保管、はさみは本棚にもありますが、事務所で保管しています。洗剤類は脱衣室の棚、押入れで保管、手指消毒用アルコールはキッチンの上で保管していますが、今のところ、利用者様にそういったものへの問題行動はありません。		
69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	毎年、救急究明講習(消防署主催)へは全員参加、年に2回、火災訓練実行、救急連絡網の訓練をとおして、危機管理に努めています。また、日常の転倒事故や窒息、誤薬に対して、事故報告書、ヒヤリハットによる防止策、対応を検討しています。		
70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	毎年、消防署主催の救急救命講習に参加し、AEDの講習も受けています。また、消防訓練にも年2回実施。利用者様の急変、事故発生時の救急対応はマニュアル化してあります。		
71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	昨年は年2回のうち1回を運営推進会議の方にも参加いただき、施設の消防訓練に対する状況を確認していただきました。	○	川辺町と災害時、福祉避難所協定を結ぶ予定。町と合同防災訓練を計画中。近隣住民の方にも利用者様を知っていただくため、月1回のたより等の配布、おつき合いを考察中。

岐阜県. さわやかグループホーム川辺


項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	<p>利用者様の健康、生活方針については、本人、ご家族様の意向を常に確認し、ホームの対応に反映させています。リスクに関しては、利用者様の現状をご家族様に正直に伝え、そのリスクの可能性についても説明して同意が得られるよう情報提供しています。</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	<p>体調変化に関しては、利用者様のバイタルチェック、意識障害有無、表情の変化を観察し、生活相談員、他の職員と連携、必要に応じて特別養護老人ホームの介護長、看護師に相談し対応。夜勤時は、隣接施設の宿直者へ連絡、応援の要請、保健師に連絡指示を受け対応、生活相談員に電話連絡をとっています。</p>		
74	<p>薬剤の処方箋はケースに保管、どの職員も確認できます。処方箋が変わった場合は申し送り、申し送りノートに記載して、情報の共有に努めています。</p>		
75	<p>入浴の際、腹部の状態把握(触診)、食欲、摂取状況、便秘の訴えのある方にはご家族様、主治医(往診時等)に相談。また、水分摂取の言葉掛け、バナナや食物繊維の多い野菜の摂取、本人の訴えに耳を傾けています。運動の奨励、散歩に毎日出かけています。</p>		
76	<p>朝食前、昼食後、夕食後利用者の身体能力に合わせて、口腔ケア援助しています。2名は自立、自己管理です。</p>		
77	<p>糖尿のある方には、主食量、間食に注意し、カロリーの取りすぎに気をつけています。水分摂取に問題のある方には家族と相談し対応していますが、1日に1,000cc以上とれない方もあります。</p>		

岐阜県. さわやかグループホーム川辺

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78 ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	便汚染、出血、嘔吐等に際しては、使い捨ての手袋使用、液体を利用した消毒剤による消毒等の実践。殺菌作用のある液体を利用した加湿器の使用をしています。		
79 ○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	台ふきやふきんは毎日殺菌消毒、キッチン専用の手洗い用タオルは毎日別途洗濯しています。ペーパータオルの使用、液体消毒剤による手指消毒している。食器類は使用后、食器乾燥機で乾燥殺菌し保管しています。料理されたものは、使いきりで後に残しません。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり			
80 ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	地域の方や保育園児などがでいりしやすいよう金魚を飼ったり、四季の花を移植したり、プランターでホーム周辺を飾っています。		
81 ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	テーブルの上には花が絶えないようにしています。トイレも利用者によっては3箇所あるトイレのひとつを利用しています。食事には食材に季節感と、行事食を沢山とり入れてあります。お風呂には入浴剤、しょうぶ湯、ゆず湯など季節感をとり入れてあります。		
82 ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	テーブルの席は決まっていませんでしたが、それぞれに自分の席につかれます。隣人同士の会話もあります。それぞれ居室を訪問したり、行ったり来たりしている方もあります。		

岐阜県. さわやかグループホーム川辺

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている		

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

岐阜県. さわやかグループホーム川辺

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働いている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

当グループホームでは、職員の教育にも多方面から情報を入手し、また、職員の要望に応じて可能な限り勤務体制を調整、研修参加を応援している。例えば、慈恵会で行われている新人研修、中堅研修、リーダー研修、また、岐阜県福祉総合相談センター、社会福祉協議会等主催の研修事業への参加、川辺エリアで行われているサークル活動、介護福祉士受験サークルなど、教育をうける機会を造りだしている。また、地域の住民の皆様であるボランティア活動も積極的に取り入れている。例えば、朗読ボランティア、ホットサロン、五感健康法、南天の会、隣接の特別養護老人ホーム、デイサービスのレクリエーション活動、ボランティア活動への参加、保育園訪問、保育園児との交流(特別養護老人ホーム1階での催し、ケアハウス喫茶(ボランティア)参加、川辺町「やすらぎの家」の訪問など、利用者様には『一期一会』の機会をなるべく多く体験していただけるよう、毎月盛りだくさんの行事参加にこころがけています。また、今年は『花一杯運動』を通してたくさんのお花や樹木を植樹に心がけ、『桃源郷』を目標に誰もが訪れ心安らぐホーム作り、いつでも来ていただけるホーム作りを創造しています。